



## 野菜の摂取量向上に向けた取組

健康福祉部保健医療局健康対策課

### あいち食育いきいきプラン2020の目標

項目	基準年 (H26)	現状	目標 (H32)
野菜の摂取量 (成人1日あたりの摂取量)	265g	289g (H27)	350g以上



### 1 現状と課題

「平成24年国民健康・栄養調査」の結果で初めて公表された都道府県別の摂取状況で、愛知県の摂取量は男女とも約240g (全国平均約280g) で、全国最下位であった。

目標とする350gに約100g不足しているため、目標量に向けての野菜摂取量の増加を図る必要がある。

### 2 主な取組

#### (1) 平成28年度の取組実績と評価

「生活習慣の改善にチャレンジしてみよう!」という県民の気運を高めるために、生活の身近な場所から健康情報を一斉に発信する「健康づくりチャレンジ推進事業」に取り組んだ。



オープニングイベントの様子

#### ○オープニングイベントの開催

開催日：平成29年3月4日・5日

開催場所：オアシス21

来場者数：3,364名 (ステージイベント、食・運動・健康の体験型ブース)



あいち健康情報ステーションの様子 (平成28年度)

#### ○あいち健康情報ステーションの設置

平成29年3月6日から1週間、協賛するスーパー、飲食店、社員食堂等404店舗 (政令・中核市含む) 設置し、健康情報を一斉に発信

#### 【評価】

イベント参加者のうち約7割は健康づくりへの関心が高まったが、イベント、事業の認知度が低かったため、「あいち健康情報ステーション」等を活用した情報発信力の強化が必要である。

#### (2) 平成29年度以降の取組 (予定)

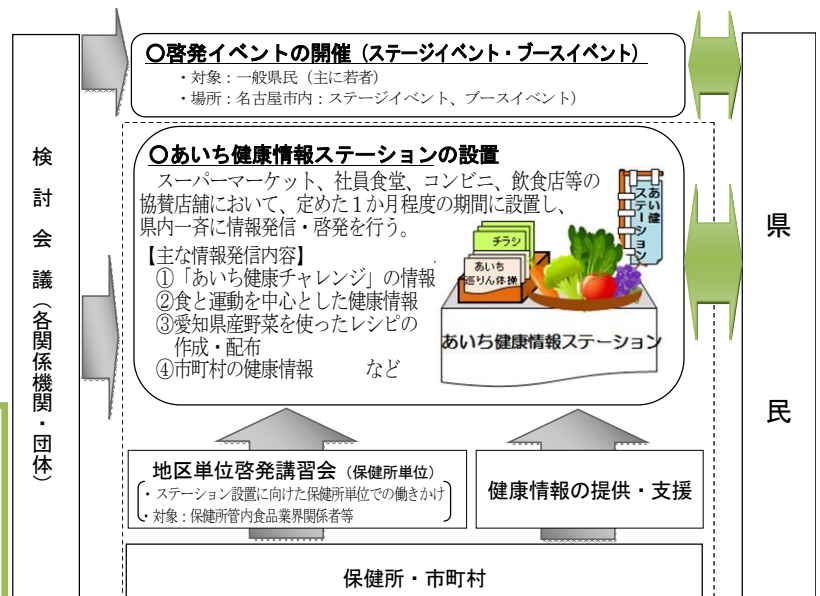
「健康づくりチャレンジ推進事業 (平成28~30年度)」による県民への啓発を継続実施する。

平成29年度は、イベント開催とともに、「あいち健康情報ステーション」設置店舗を増加させ、更に設置期間を1か月に延長する。

### 3 取組推進のための事業、体制等のイメージ

#### 【スローガン】

- 食：「食べて元気に もう1皿野菜を!」
- 運動：「動いて元気に もう10分!」





# 学校給食における地域の産物の活用に向けた取組

教育委員会事務局保健体育スポーツ課健康学習室

## あいち食育いきいきプラン 2020 の目標

項目	基準年	現状	目標 (H32)
全食品数に占める県産食品数の割合	40.5% (H27)	38.8% (H28)	45%以上
年間に使用した県産食品の種類	54 種類 (H26)	57 種類(H27)	60 種類以上

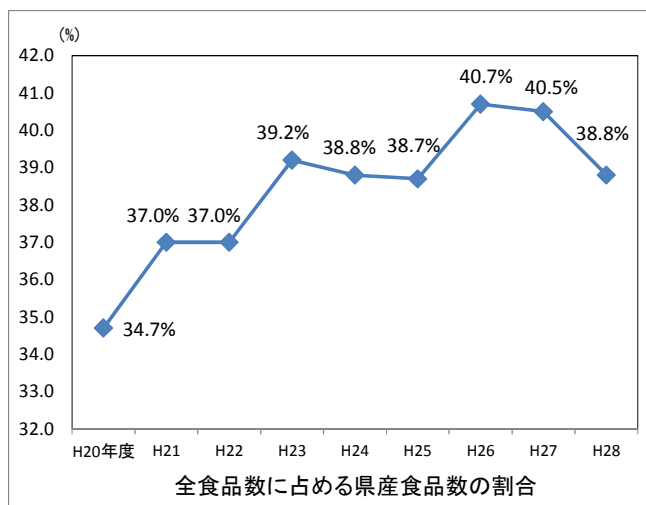
### 1 現状と課題

平成 19 年度から、食育月間である6月に「愛知を食べる学校給食の日」を実施し、平成 23 年度からは、年3回（6月・秋・1月）に拡充した。

しかし、①使用量が確保できない、②規格・サイズにあった食材が必要量確保できない、③価格が高い・安定していない等の理由により全食品数に占める県産食品数の割合は目標に届いていない。

特に、平成 28 年度は天候不順などによる野菜不足の影響もあり減少した。

今後とも、地域の産物を学校給食に活用した食に関する指導がどのように児童生徒の地域の理解に繋がるのかを検証しながら、取り組んでいく必要がある。



### 2 主な取組

#### (1) 平成 28 年度の実績と評価

「愛知を食べる学校給食の日」を年3回実施した。また、栄養教諭等を対象とした「学校給食献立コンクール」において、「地場産物(愛知県産)を活用した魅力ある学校給食」をテーマとし、応募条件に“県産食材活用率 45%以上”を掲げて実施した。

#### 【評価】

「学校給食献立コンクール」には、263 作品の応募があり、審査結果とともに、入賞 15 作品が掲載された「給食・食育だより」を Web ページで情報発信すること等により、地域の食材と食文化の理解に繋がった。

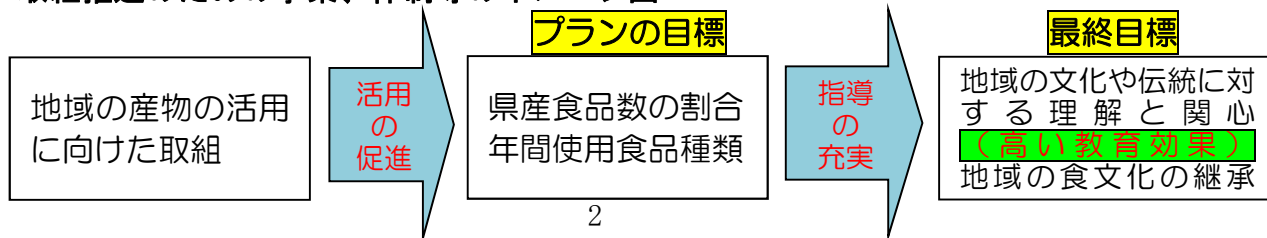


入賞作品の一例

#### (2) 平成 29 年度以降の取組 (予定)

引き続き「愛知を食べる学校給食の日」や地場産物(愛知県産)の活用をテーマとする「学校給食献立コンクール」を実施し、食に関する指導の充実を図ることにより、地域の文化や伝統に対する理解と関心を深める。

### 3 取組推進のための事業、体制等のイメージ図





## 郷土料理等地域の食文化の継承に向けた取組

農林水産部食育消費流通課

### あいち食育いきいきプラン 2020 における位置づけ

#### Ⅳ 県や関係団体の取組

##### 1 目指すべき姿に向けての取組

1-2 食を通じて豊かな心を育むために

(3) 日本の食文化や郷土料理等の理解と継承

イ 給食等における地場産物や郷土料理等の導入促進

ウ 日本型食生活の推進、郷土料理等の地域の食文化の継承



### 1 現状と課題

平成 25 年 12 月の「和食：日本の伝統的な食文化」ユネスコの無形文化遺産登録を契機に、伝統的な食文化の保護・継承の重要性が高まっており、本県に伝わる郷土料理等の食文化の理解を促進し継承していく必要がある。

### 2 主な取組

#### (1) 平成 28 年度取組実績と評価

ア 「あいちの郷土料理レシピ 50 選」の作成、配付  
地域の郷土料理や行事食を調査し、専門家による検討委員会において検討したレシピ集「あいちの郷土料理レシピ 50 選（以下「レシピ 50 選」という。）」を 5,000 部作成した。

食育推進ボランティア、農村輝きネット・あいち会員、市町村、観光協会、小中学校、図書館等に配付するとともに、食育 Web ページ「食育ネットあいち」へ掲載した。

イ 「レシピ 50 選」の特長

レシピの他に、各料理のいわれや歴史を整理した『料理の履歴書』、『私の思い出』、世代を超えて話し合った『座談会』、『行事食』、県の食文化を支える『食材』や『調味料』も紹介している。

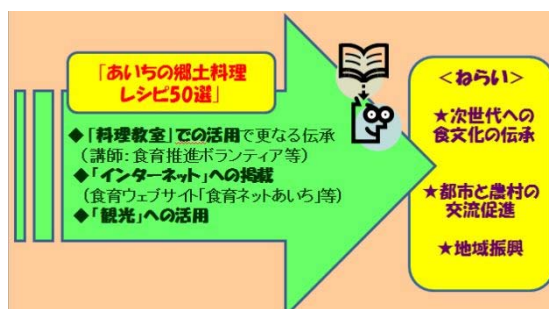
#### 【評価】

公表後、新聞等で紹介されると問合せが多数寄せられ、郷土料理への関心の高さが伺えた。

#### (2) 平成 29 年度以降の取組（予定）

- 一般県民を対象として、地域の食文化の理解促進と次世代への継承について考える「あいち食育いきいきシンポジウム（8月）」を開催する。
- 食育推進ボランティアを対象として、「レシピ 50 選」を活用した「郷土料理講習会（8～9月：2回）」を開催し、県内各地域での食文化の継承を推進する。

### 3 取組推進のための事業、体制等のイメージ図



『レシピ 50 選』を活用した食育推進ボランティアや市町村等による料理教室等の開催を通じて、次世代への食文化の伝承、都市と農村の交流促進、地域振興が図られる。



# あいち食育いきいきシンポジウム

## — 愛知県の食文化を次世代へ伝えるために —

長い間培われてきた郷土料理等地域の食文化を御理解いただき、いかに次世代へ伝えていくかを皆で考えるシンポジウムの参加者を募集します。

**日時** 平成29年8月3日(木)午後1時～午後4時

(開場:午後0時30分)

**会場** 西三河総合庁舎 10階 大会議室

**定員** 200名

★応募多数の場合は、抽選で参加者を決定



本県で作成した郷土料理レシピ集  
『あいちの郷土料理レシピ50選』

※詳細は食育Webページで

[食育ネットあいち](#) [検索](#)

### プログラム

#### 1 基調講演

演題「愛知県の郷土料理の魅力について  
— 『あいちの郷土料理レシピ50選』作成に携わって—」

講師：名古屋文化短期大学 食生活専攻長 教授  
(一般社団法人愛知県調理師会 副会長)  
鳥居 久雄 氏



名古屋文化短期大学  
教授 鳥居 久雄氏

#### 2 パネルディスカッション

テーマ「地域で伝える郷土料理等の食文化」

コーディネーター：鳥居 久雄 氏

パネリスト：荻野 紀子 氏 (愛知県食育推進ボランティア、  
輝きネット・あいちの技人)

二村 和孝 氏 (岡崎市保健部健康増進課係長)

山本 勝彦 氏 (刈谷市立住吉小学校栄養教諭)

茶谷 英里 氏 (名古屋文化短期大学生)

#### 3 優良食育活動事例報告

テーマ「地域ぐるみで豊かな心を育む食育活動」

発表者：西三河農業協同組合 営農部営農企画課 係長 岩瀬 秀教 氏

## 会場案内図



### <会場までのアクセス>

- ★公共交通機関を御利用ください
  - ・名鉄東岡崎駅から北西へ徒歩5分
  - ・JR岡崎駅から名鉄バス「明大寺」下車、徒歩3分
- (庁舎代表電話番号 0564-23-1211)

## 申込方法

下記に必要事項を御記入の上、ファクシミリ、電子メール又は郵送でお申し込みください。

**【申込期限】平成29年7月20日(木)**

**※参加証は発行しません。定員を超えて御参加いただけない場合のみ、御連絡します。**

- ◆ファクシミリ： FAX (052) 954-6940
- ◆電子メール： shokuiku@pref.aichi.lg.jp (件名「あいち食育いきいきシンポジウム」)
- ◆郵送： 〒460-8501 (住所記載不要) 愛知県食育消費流通課

## 「あいち食育いきいきシンポジウム」参加申込書

氏名	住所	連絡先 メールアドレス・FAX番号 ・電話番号のいずれか	★「郷土料理」について、 御質問や御意見があれば 御記入ください
年代( 才代)	所属( )		
年代( 才代)	所属( )		
年代( 才代)	所属( )		

- ★ 枠が足りない場合は、他の用紙に必要事項を御記入の上、お送りください。
- ★ いただいた情報は、本シンポジウムに係る運営及び連絡以外には使用いたしません。

## 問合せ先

愛知県農林水産部食育消費流通課 食育推進グループ  
 〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1-2  
 電話：052-954-6396(ダイヤルイン) FAX：052-954-6940  
 e-mail：shokuiku@pref.aichi.lg.jp



# 食育推進ボランティアの育成と活動の充実に向けた取組

農林水産部食育消費流通課

## あいち食育いきいきプラン 2020 の目標

項目	基準年(H26)	現状		目標(H32)
食育推進ボランティアから食育を学んだ人数	9.1万人	10.5万人(H27)	10.5万人(H28)	10万人以上/年間

### 1 現状と課題

「愛知県食育推進ボランティア（以下「ボランティア」という。）は、県民が健全な食生活を実践できるよう、県内各地域で様々な食育の推進活動を行っているボランティアであり、平成29年3月末時点では、1,103名が登録している。

プランの目標達成のためには、ボランティアの更なる資質の向上、多様な関係者との連携促進が望まれる。

### 2 主な取組

#### (1) 平成28年度取組実績と評価

地域の実情に応じた取組で活動の場を広げるために、28年度から各農林水産事務所ごとにボランティアと関係者が食育について学び、交流を図る「地域食育推進ボランティア研修交流会（以下「地域研修交流会」という。）」を開催した（7か所、231人参加）。

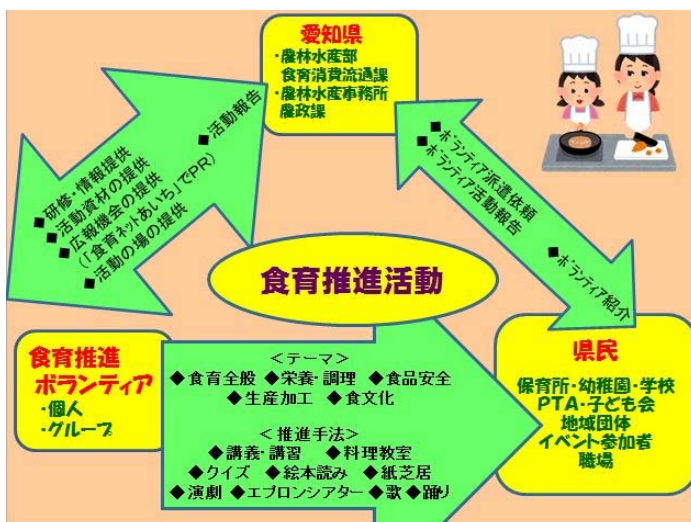
#### 【評価】

- ・各地域の実情に応じたテーマで食育の知識を深め、他のボランティアの活動の内容や思いを知り、新たな取組を考えたり、活動を見直したりする機会となった。
- ・問題解決のツールとして、ワークショップの手法を習得した地域もあった。
- ・ボランティアから、「郷土料理について学びたい。」との声がある。

#### (2) 平成29年度以降の取組（予定）

- ・引き続き、「地域研修交流会」等でボランティアの育成と関係者との連携を図るとともに、活動の充実を支援していく。
- ・「あいちの食育いきいきシンポジウム」「郷土料理講習会」始め、「地域研修交流会」でも食文化継承の技術や情報を付与し、各地域での取組を推進する。

### 3 取組推進のための事業、体制等のイメージ図



「地域食育推進ボランティア研修交流会」

【テーマの一例】野菜に視点をおいた食育をどう進めるか？